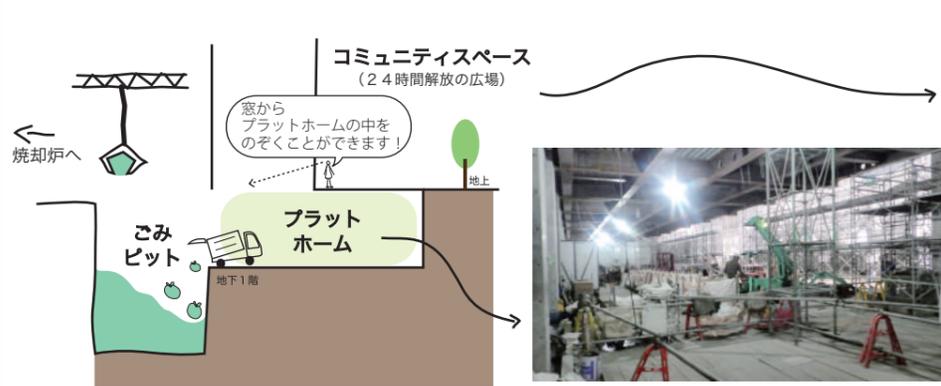


地下のプラットホームができました 4月～5月



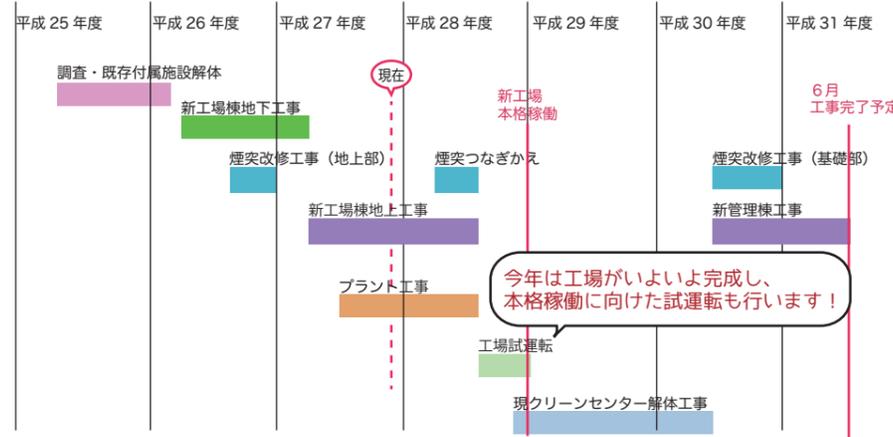
プラットホーム内部工事の様子。



柱が少ないプラットホームは「メガトラス」と呼ばれる鉄橋などに使われる構造を採用しています。

今後の工事予定 平成29年4月新工場棟の本格稼働開始、平成31年6月に現工場の解体を含む全ての工事が完了する予定です。

完成イメージ



新武蔵野クリーンセンター(仮称)の特徴を紹介

だれでも自由に工場見学！



見学者コースイメージ(エントランス)



見学者コースイメージ(焼却炉)



見学者コースイメージ(蒸気発電機)

新工場棟の2階は工場見学コースになっています。2階のフロアを一周することで、ごみ処理の流れがわかります。ガラス越しに工場の機械を見ることができます。自由にご覧いただけます。

周辺住民の方々と話し合いを進めています



協議会での視察の様子(視察先:えこっくる江東)

平成22年3月に設置された新武蔵野クリーンセンター(仮称)施設・周辺整備協議会には、クリーンセンター周辺の住民団体・ごみに関連する団体の代表者の方々と学識経験者などが委員として参加し、新しいクリーンセンターの設備やデザインの方針などについて話し合いをしてきました。今後は、クリーンセンター周辺のまちづくりなどについて話し合う予定です。

武蔵野市ホームページで協議会の議事録を公開しています
http://www.city.musashino.lg.jp/shingikai/shingikai_kaijiroku/16114/index.html

平成29年4月稼働予定「新武蔵野クリーンセンター(仮称)」建設事業の今をお知らせ！

新クリーンセンターニュース

平成28年2月発行 武蔵野市環境部クリーンセンター 武蔵野市緑町3-1-5 0422-54-1221



VOL.3

新クリーンセンター建設について



新クリーンセンター完成イメージ

武蔵野クリーンセンターは市内唯一のごみ処理施設です。現在のクリーンセンターは稼働から約30年が経過し、機械の耐用年数などの状況から、周辺住民の方々のご理解とご協力をいただき、現施設の東隣に平成29年4月稼働を目指して、新クリーンセンターの建設工事を安全に進めています。新しいクリーンセンターは、中央通り沿いの広場を開放したり、自由に見学できる見学者コースを整備するなど、市民のみなさまに開かれたオープンなごみ処理施設を目指しています。また、ごみ発電設備の導入など、エネルギー供給施設としての機能も兼ね備えています。現在は地上部の鉄骨工事も進み、工場の機械の組み立ても着々と進められています。今年の秋にはおおむね建物も完成し、工場の試運転に入る予定です。

特集

焼却炉ができるまで

ごみ発電のしくみ

平成二十七年工度工事ダイジェスト

今後の工事予定

ほか

工事現場見学会を開催します！

平成28年3月13日(日) 午前11時～午後3時

※時間内順次スタート。所要時間は30分程度。

受付場所 武蔵野クリーンセンタープラットホーム内
事前予約不要。直接、受付にお越しください。

*工事現場の中に入ります。急な階段の上り下りがあります。
ハイヒールやサンダルでの見学は危険ですのでご注意ください。
スニーカーなど歩きやすく、汚れてもよい靴でお越しください。

同時開催！
ごみを考えるイベント
「クリーンセンターとあそぶ」
おもちゃの交換会「かえっこ」
食品ロスに関するパネル
ディスカッションなど。

平成26年12月工事現場見学会の様子

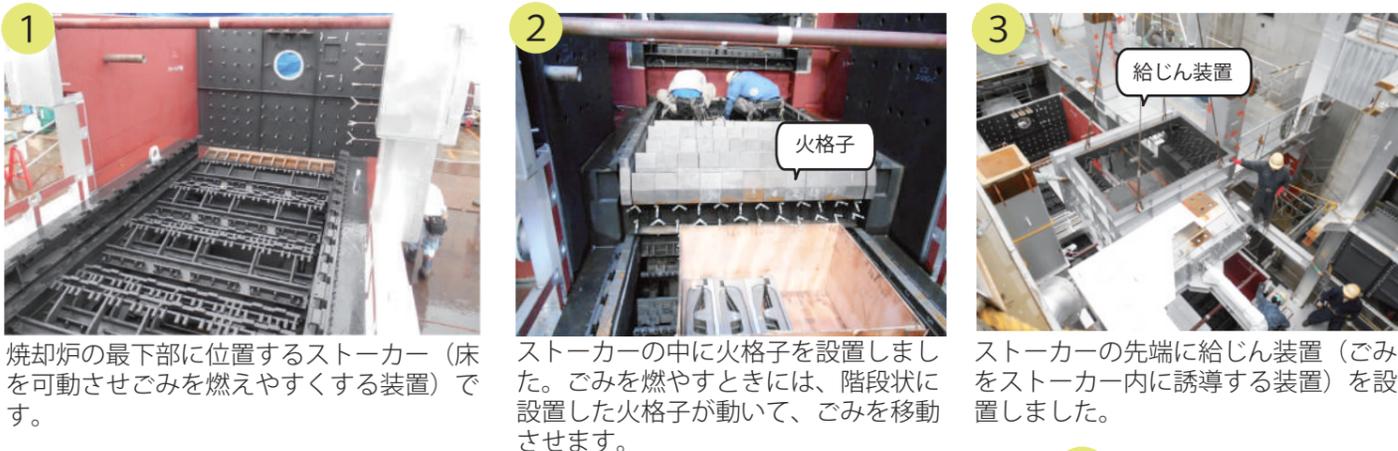
平成27年

平成28年



4月 地下1階躯体工事 5月 地下1階躯体工事 6月 地下1階躯体工事 7月 地下1階躯体工事 不燃・粗大ごみ破砕機設置 8月 地上工事スタート 炉架構・蒸気だめ設置 9月 1～2階躯体工事 蒸気タービン発電機設置 10月 1～2階躯体工事 焼却炉組立て 11月 2～3階躯体工事 エコノマイザー設置 12月 3～R階躯体工事 ボイラパネル設置 1月 3～R階躯体工事 ボイラボラム設置

特集 焼却炉ができるまで 10月～11月



1 焼却炉の最下部に位置するストーカー（床を可動させごみを燃えやすくする装置）です。

2 ストーカーの中に火格子を設置しました。ごみを燃やすときには、階段状に設置した火格子が動いて、ごみを移動させます。

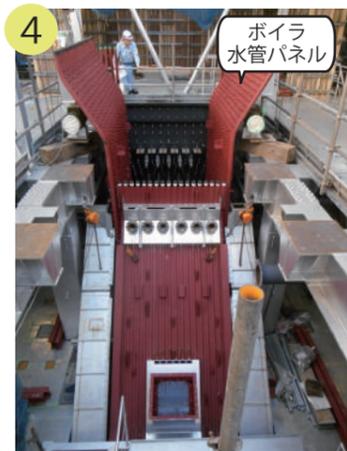
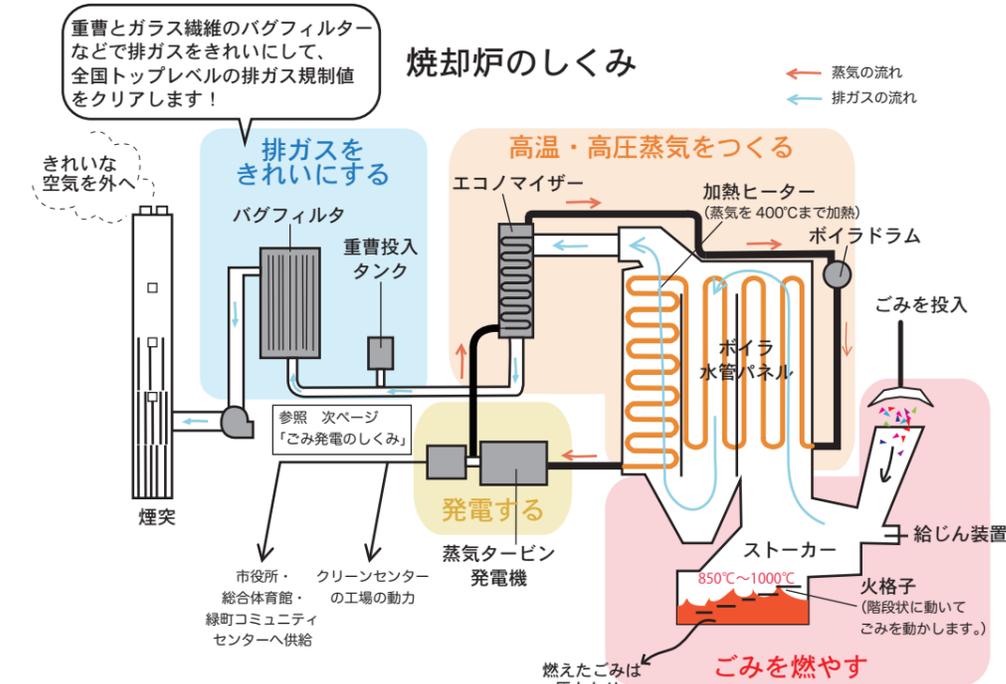
3 ストーカーの先端に給じん装置（ごみをストーカー内に誘導する装置）を設置しました。

ごみ発電のしくみ



焼却炉により、可燃ごみは850℃～1000℃で燃やします。その際に発生する熱を利用して、高温・高圧ボイラにより蒸気を発生させます。この高温・高圧の蒸気を使って、蒸気タービン発電機を動かし、発電を行います。また、新クリーンセンターには清掃工場では全国初の試みとして、常用ガス・コージェネレーション設備も併設します。このことにより、災害などによる停電時においても、災害に強い中圧ガス管からガス供給を受け、ガス・コージェネレーション設備を稼働、発電し、焼却炉を運転させるとともに、市役所、総合体育館、緑町コミュニティセンターへ電力を供給します。平常時においても夏の電力不足の際に対応します。

焼却炉のしくみ



4 焼却炉上部に差し込むように、ボイラ水管パネルを取り付けました。この水管の中の温水が排ガスの熱で高温・高圧蒸気となり、蒸気タービンに送られ、発電します。



蒸気タービン発電機搬入の様子。



蒸気タービンの中に入っている動翼です。タービンの内部は、歯車のようになっていて、回転することで発電します。



常用ガスコージェネレーション設備設置状況。

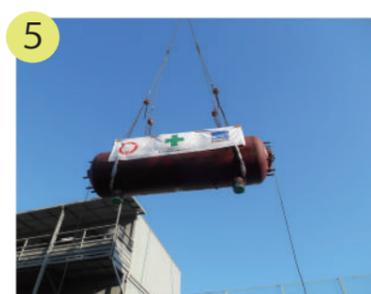
不燃・粗大ごみの破砕機を設置しました！ 7月～8月



完 エコノマイザーへ ボイラ水管パネル ボイラドラム



6 エコノマイザーを設置しました。蒸気は蒸気タービンを通り、水に戻り、エコノマイザーを通して温水となり、ボイラドラムに戻ります。



5 炉のトップに位置するボイラドラム（蒸気を集め、分配する装置）を設置しました。



一次破砕機



二次破砕機

不燃・粗大ごみは、ピットに貯留した後、破砕機で細かく砕きます。砕いた後、鉄、アルミなどに分別しそれぞれリサイクルをしています。現クリーンセンターの破砕機は高速の1種類で、不燃ごみにガスボンベなどの有害ごみが混じていたために、破砕の際に爆発したことがあります。新クリーンセンターには2種類の破砕機を設置します。一次は低速でじっくりとつぶすように破砕し、二次は高速で砕いていきます。2工程に分けることで、爆発のリスクを軽減していますが、安全なごみ処理を行うため、引き続きごみ分別のご協力をお願いします。